

MI 塾では、勉強面、そして精神面のサポートで大変お世話になりました。

まずは勉強面の話をしたいと思います。

私が本格的に受験勉強を始めたのは、部活引退後の高2の10月からです。それまでは、英語のみ中一から松井先生に週1回、指導していただきました。ほかの教科は、学校の勉強だけでした。英語に毎週触れられたことは本当に良かったと思っています。英語が好きになり、苦ではありませんでした。受験のためと言うよりは、英語圏の人とコミュニケーションが取れるようになりたい、また、純粋に英語が出来れば選択肢が広がるという思いから、英語を勉強していました。この思いはずっと今まで変わりません。英語がある程度安心できることは、私の受験では本当に大きい支えになりました。

他の教科で私がお世話になり始めたのはぎりぎり、高3の11月でした。少し自分の現状をお伝えした後、数学、化学、生物を過去問中心で指導していただくことに決めました。当時、どの科目も本当に未完成でした。化学、生物は主に過去問を1週間に1年分、数学は2年分を解き、写真を送って提出、授業の日までに添削していただきました。当然ですが、大学ごとに試験問題は千差万別です。私は過去問にしっかり取り組みたかったので、過去問中心の授業は自信につながり、とても大切だったと感じています。

私に必要な授業を柔軟にカスタマイズしてくださり、大変ありがたかったです。

初めに相談に乗って頂くことでやる事が定まったのはとても良く、かなりの安心感につながりました。受験において大きな不安の一つに、何をしたら一番学力が伸びるのか分からず不安、というのがあったと思います。この不安が、やる事が定まったおかげでかなり解消されました。また、定期的にある授業のおかげで、リズムができ、勉強のペースが安定しました。

授業では主に、解いた過去問の解説授業と、時間があれば他の問題をその場で解きました。始める前は、過去問一年分から学べることは限られていると思っていました。しかし、やってみると本当に学びであふれていました。先生方が授業の中で、過去問で聞かれたことだけでなく、その関連事項にまでさらに広げて知識の確認をしてくださるので、少しずつ穴を埋めることが出来ました。知識が重要な科目はインプットばかりしたくなりがちです。しかし、よく言われることではありますが、アウトプットは本当に大切です。さらに、間違えることで覚えやすくなります。授業や過去問で問題を解きながら穴を埋めていく作業は、自分にとって非常に重要でした。

以下、それぞれの教科について少し細かく紹介します。

■化学

化学は生物より知識が穴だらけで、もう一度全て覚えようかと何度も思いました。ですが、授業や過去問で出てきたら覚えるというやり方で、完璧を求めずとも大丈夫でした。そのおかげもあってか、共通テストの化学は満点でした。11月以降でもいくらでも伸びると思います。

■生物

生物は好きな科目でしたが、面白い授業で、さらに圧倒的に好きになりました。ただ知識として覚えようとしていたことが、生物の豆知識的な、興味深い話をしてくださることで、一発で覚えることが出たのは感動でした。覚えにくい事柄の覚え方を教えてくださったのも、非常にありがたかったです。

■数学

数学は、一番苦手な教科でした。ですが、気が済むまで過去問を解き、先生もそれに付き合ってくださったので、穴も埋めていけたと思います。定期的な授業のおかげで、過去問を解くペースを落とさずにやり抜くことができました。自分一人ではできなかったと思います。

全体としては、ある程度得意な科目も、完全に苦手な科目も、見て頂いて本当に良かったです。他と比べると学習が進んでいた生物も、頭打ちになることはなく、11月から最後まで、知識の穴を埋めて確実に伸びました。考察問題や、実験を答えさせる問題の考え方も、本当に勉強になりました。

そして、苦手な科目も、見てもらうのと、もらわないのとでは雲泥の差でした。苦手だからこそ、試験当日を迎えたときに少しでも不安がなくなるよう努力することができました。それができたのは授業のおかげです。化学では、最初リード文の量を見ただけで、かなり戦意をそがれていましたが、授業をやっていく中で恐れは確実に減っていきました。

共通テスト対策もアドバイスいただき、全ての教科で相談に乗って頂きました。古典はかなり不安でしたが、教えていただいたことは最大限生かせる、ためになることばかりでした。共通テストは、国語の一問の配点はあり得ない高さで、ダントツで一番怖かったですが、国語も9割を超えられて自分的には奇跡でした。

そして勉強面で一番ありがたかったことは、先生方とのLINEのグループがあったこと、そして、先生方も医科歯科の過去問を、実際に時間をはかって解いてくださったことです。

私はどんな些細な疑問でも、分からないと思ったら、LINEグループに送っていました。すぐに返信してくださり、いつでも聞ける環境と言うのは、本当に、本当にありがたかったです。疑問が解消せずもやもやすることはありません。

また、先生方から学んだ非常に重要なこととして、総得点底上げのための問題の解き方があります。「解けない問題は飛ばすこと、解ける問題から確実に埋め、何度も戻ること」これは、当たり前のことかもしれませんが、以前は全く意識していませんでした。しかし、先生方にお世話になって初めて、その大切さに気付きました。先生方自身が過去問を解いてくださるため、どういう風にリード文を読むか、どの問題は飛ばしたか、どれが解けなくてもいい問題か、など、より実戦的な解き方を学びました。これにより総得点を上げることは、受験勉強の中で起きた一番大きな変化だったと思います。言葉でいうのは簡単ですが、私はなかなかできず、どうして飛ばさなかったのだと、何度も反省しました。一つの問題に粘りたくなる私に、懲りずに何度も助言をしてくださり、感謝しています。

最後に、面接と小論文でもお世話になりました。面接は先生と1回練習して、イメトレできたことは本当に良かったです。また、私が受けた医学部の試験は全て小論がありました。私は12月の終わりの時点で、小論を一度も書いたことはありませんでした。学科試験との兼ね合いを見つつ、不安は残らない、ちょうどよい配分で小論の対策が出来ました。小論は人に見てもらおうと、モチベーションも段違いに高まり、気づきがたくさんありました。

本当に、勉強のあらゆる面でサポートしていただけたと思っています。

ここからは、メンタルサポートの面から体験をお話しします。

何よりも感謝しているのは、本当に親身になってくださり、精神的な支えになって頂いたことです。受験はつらいものです。先生方にお会いする前は、受験が近づいていることが憂鬱で仕方がなく、本当にやめてしまいたいと思っていました。学校の指定校推薦枠などを調べていく中で、大学生になれるならどこでもいいかなと、妥協しそうになっていました。しかし、ここでお世話になるようになった高3の11月から、自分でも不思議なくらい前向きになっていきました。これは意識もしていましたが、不合格のイメージは決してせずに、合格して報告することだけを考えてニヤニヤしていました。合格をイメージして、突然にやけ出すことが何度もありました。

私が前向きになれたのは、先生方の影響で志望校に合格したいという気持ちが強くなっていったことがあります。先生方は、第一志望校に合格した方々です。その先生方の大学のお話などを聞いているうちに、自然と自分も志望校に何としても進学したいという気持ちが強くなっていったように思います。第一志望校に合格された先生方に教えていただいたのは、本当に素晴らしいことだったと感じています。

何より、先生方は非常に明るく、楽しく、最高に、最高に素敵な人たちでした。そもそも授業が楽しいので、癒しの時間になりつつありました。つらい、つらい受験勉強をのりこえてきた先生方は、受験生の気持ちを本当にわかってくださいます。心から応援してくださり、どんなに励みになったか、言葉では言い尽くせません。いろいろな愚痴や、たまった不満をいつでも快く聞いてくださいました。勉強に関するだけでなく、何を話したのか覚えていないような些細なおしゃべりも息抜きでした。試験直前にくださる激励の言葉は、本当に勇気づけられました。大切なメンタルトレーニングにもなりました。この受験生活で得たことは、これからの人生でも生きてくると、確信しています。よく考えると、11月以降もつらいことがなかったわけではありません。ですが、今もそれが思い出せないくらい、いい受験生活だったな、という満足感で満たされます。

ここでの出会いがなければ、第一志望校合格はなかったと思っています。私にとって、MI塾での出会いは、人生の中でも、非常にかげがえのないものになりました。

東京医科歯科大学合格の喜びは言葉では言い尽くせないものでした。応援してくださる方々が一緒になって喜んでくださることが、こんなにも嬉しいことだとは知りませんでした。これからMI塾で学ぶ方々が、どうか、この喜びを感じられますように、そして、ここでの出会いが大切なものになることを、心から願っています。